

コースコード：RH-AD482

税込価格：207,900円 (税抜価格：189,000円)

日数：3日間

トレーニング内容

Kafka と AMQ Streams を使用してイベント駆動型アプリケーションを設計、開発、テストする方法を学びます。イベント駆動型マイクロサービスによって、グローバルに拡張し、プロセスデータを保存およびストリーミングし、低レイテンシーで顧客にフィードバックを提供できます。

このコースはアプリケーション開発者向けで、Red Hat AMQ Streams 1.8 と Red Hat OpenShift Container Platform 4.6 に基づいています。

ここに注目!!

ワンポイントアドバイス

受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

マイクロサービス開発の経験を持つアプリケーション開発者

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・ Microservices Development with Quarkus (DO378) コースで扱われているようなマイクロサービス
- ・ アプリケーション開発および設計の経験、または同等の経験があること
- ・ OpenShift の使用経験が推奨されますが、必須ではありません

テクノロジー上の留意事項

- ・ 共有クラスタにアクセスできるデバイスが必要
- ・ クラウドベースのクラスルームも利用可能

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

Kafka と AMQ Streams を使用するイベント駆動型アプリケーションにより、アプリケーションをグローバルに拡張し、プロセスデータを保存およびストリーミングし、非常に低いレイテンシーで顧客にフィードバックを提供できるようになります。



このコースを受講すると、Kafka と AMQ Streams のアーキテクチャを理解し、イベント駆動型アプリケーションの適切なユースケースを特定できるようになります。Kafka と AMQ Streams の基本原則と機能に加え、イベント駆動型アプリケーションの設計、開発、テストの方法を学びます。

以下のスキルを習得できます。

- ・ 標準パターンを使用して関連するシナリオのイベント駆動型アプリケーションを設計、構築、使用する

- ・ Debezium

によってデータ変更を検出して対応し、アプリケーションのパフォーマンスを向上させる

- ・ イベント駆動型アプリケーションの一般的な問題をトラブルシューティングする

アウトライン

イベント駆動型アプリケーションの設計

イベント駆動型アプリケーションの原理を説明する

Kafka と AMQ Streams の概念

基本的な読み取り/書き込みメッセージング機能を使用してアプリケーションを構築する

Streams API を使用したアプリケーションの構築

Streams API を活用してデータストリーミング・アプリケーションを作成する

イベントコラボレーションを使用した非同期サービスの作成

イベント・コラボレーション・パターンを使用して非同期サービスを作成および移行する

データシステムと Kafka Connect の統合

Kafka Connect と Debezium を使用してデータシステムを接続し、データ変更に対応する

AMQ Streams アプリケーションのトラブルシューティング

Kafka および AMQ Streams アプリケーションの一般的な問題を処理する